

学校ではできない学びを博物館で！ 一様な実体験を通してー

博学連携の意義

学校教育は学習指導要領を基に行われています。そして、現行の学習指導要領では「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の3点を押さえて教育活動を行うように示されています。従って、博物館を活用した学習活動を行うことは、先述の3点、特に「どのように学ぶか」の部分が意識された良い学習活動と言えます。また、普段の授業とはちょっと違った学習活動は印象的で、児童生徒の心の中に残る経験となります。さらに、知識を得ることだけでなく、普段、学校や家庭では目にしない表現方法を目の当たりにできる部分も博物館活用のメリットだと考えます。

当館で行っている学校教育支援

当館では学校教育支援を行っています。具体的には、次のとおりです。

- ・当館周辺の自然解説（岩畳の自然解説など）
- ・学校への出前授業や体験活動への講師派遣
- ・教育用物品や貸出キットの貸出
- ・（教員への支援として）総合教育センターで行われる教員研修での講義
- ・当館オリジナルの教員研修（「授業に活かせる自然の博物館活用講座」）

博学連携の推進は、児童生徒の学習効果を数倍にもします。これからも学校との連携を推進し、子どもたちがより充実した教育を受けられるよう努力していきたいと思えます。

（横田 淳／企画・広報担当 担当課長）



授業に活かせる自然の博物館活用講座
（学芸員による技の伝授）



授業に活かせる自然の博物館活用講座
（常設展示の観覧ポイント説明）



講師派遣（水生昆虫しらべ）

展示のお知らせ（4月～9月）

	タイトル	期間	
企画展	入間川流域の 自然遺産調査から見たこと	3月9日(土)～6月16日(日)	入間川流域の調査で新たに分かった現在の自然のすがたを調査手法とあわせて紹介します。
特別展	外来生物in埼玉！	6月29日(土)～10月14日(月・祝)	外来生物ってなんだろう？埼玉県内で見られる外来生物や、外来生物をとりまく問題を紹介します。
トピック展	空から見た入間川	2月27日(火)～6月16日(日)	博物館職員がヘリコプターから撮影した写真を使って入間川周辺の地形や自然環境を紹介します。
トピック展	生痕化石の世界	6月18日(火)～10月6日(日)	生き物の巣穴や糞などの化石である生痕化石。県内や日本各地で見られる様々な生痕化石を紹介します。

※開館時間：9：00～16：30（7・8月は17：00まで） 入館は閉館30分前まで

※休館日：月曜日（祝日、振替休日、GW、7・8月は開館） 燻蒸のため休館：9月6日（金）～9月13日（金）その他、臨時休館あり
※その他イベントについては、リーフレット（展示・イベント案内）またはホームページ（<https://shizen.spec.ed.jp/>）をご覧ください